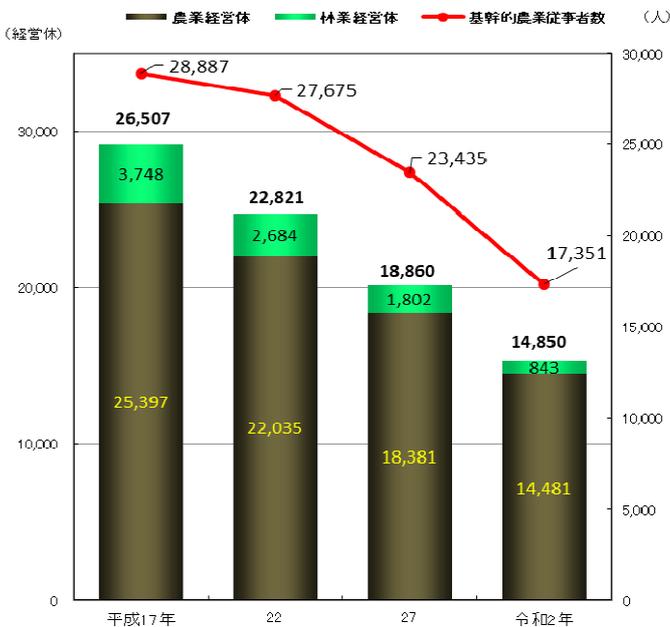


農林業センサスでみる鳥取県

～鳥取県の農林業事情～

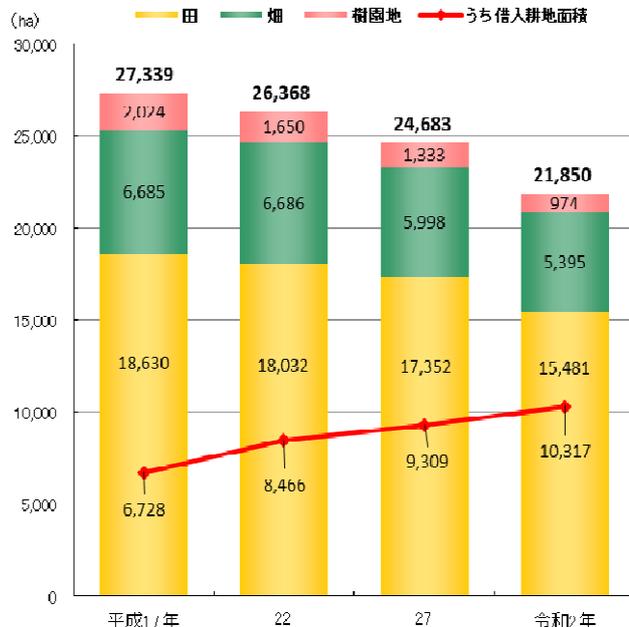
農林業センサスは全国の農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、各種農林業施策に必要な資料の整備を目的に、5年ごとに行う調査です。

農林業経営体・基幹的農業従事者数の推移



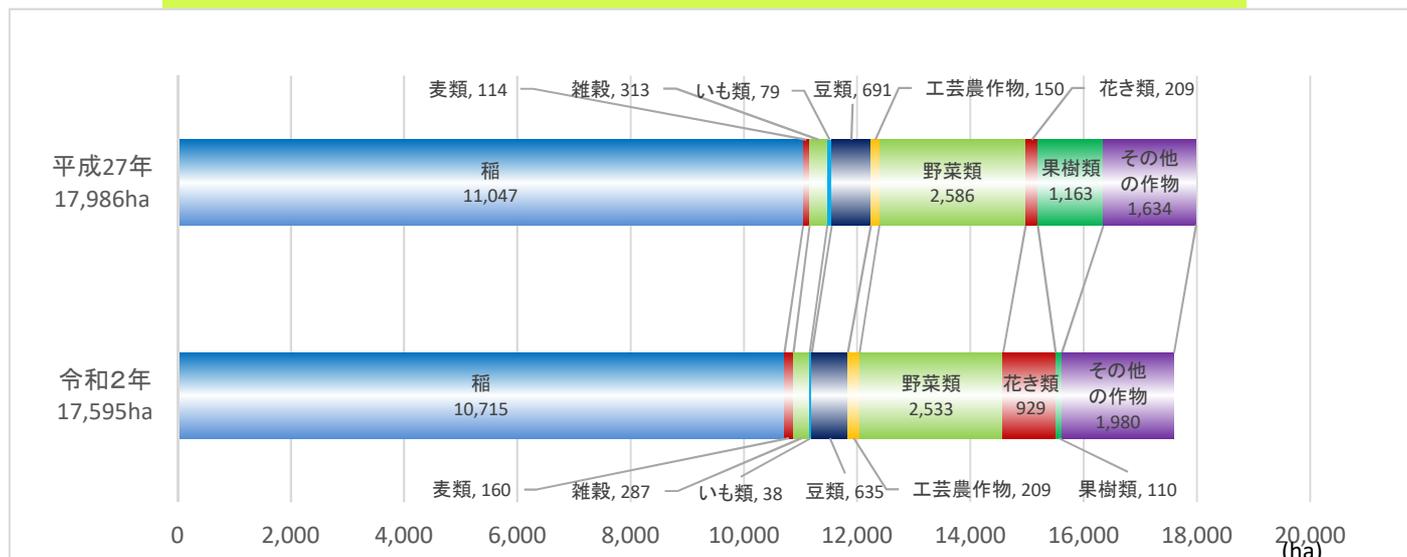
注：基幹的農業従事者とは、ふだん仕事として主に自営農業に従事している世帯員をいう。

経営耕地面積の状況の推移



県内の農林業経営体は、農業経営体、林業経営体ともに減少が続いています。
 基幹的農業従事者についても、農林業経営体と同様、減少しています。
 経営耕地面積の状況は、田・畑・樹園地それぞれが減少していますが、経営耕地面積の借入耕地面積については、増加しています。

販売目的の作物の類別作付(栽培)面積(令和2年及び平成27年)



令和2年の販売目的の作物の作付(栽培)面積は17,595haで、作物ごとに比べてみると、稲が10,715haと最も大きく、県全体の60.9%を占めています。次いで野菜類(2,533ha、同14.4%)、その他の作物(1,980ha、同11.3%)となっています。
 平成27年と比べると、全体では391ha減少しており、特に果樹類1,163ha(構成比6.5%)から110ha(同0.6%)と、大幅に減少しています。

